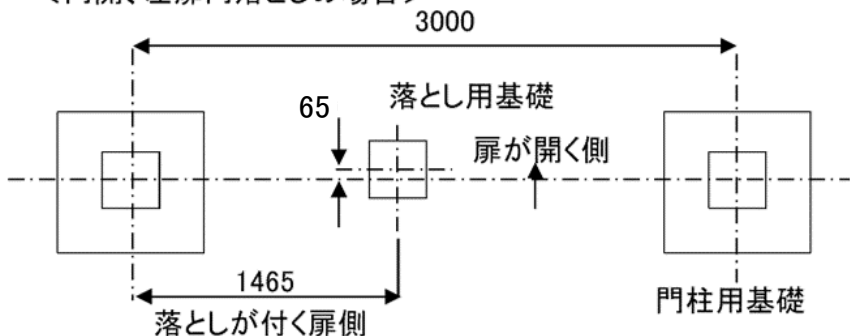


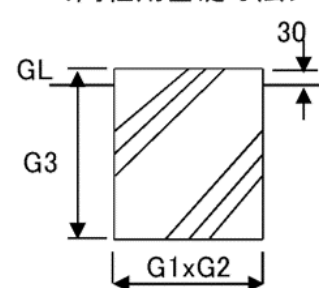
## ■基礎ブロックの設置

- ・門柱用と落とし用の基礎ブロックを設置します。
- ・落とし用の基礎は落としを付ける側で1465mmのスパンとなり落としの設置される側に65mmずれます。
- ・門柱用基礎はGLから30mm立ち上げ、落とし用基礎はGLと水平に設置してください。

<内開、左扉内落としの場合>



<門柱用基礎寸法>



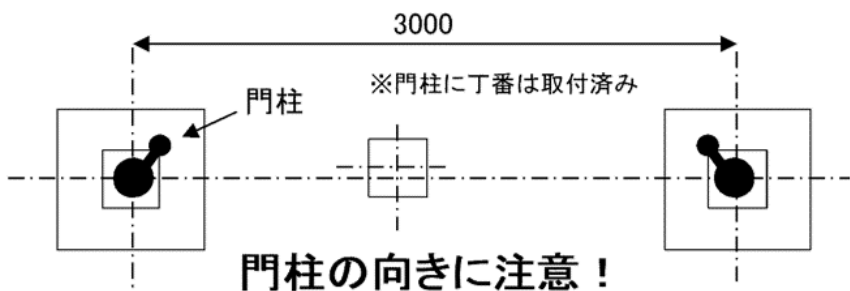
	G1xG2xG3
H1200	400x400x600
H1500	400x400x600
H1800	500x500x700
H2000	500x500x700

<落とし用基礎寸法>

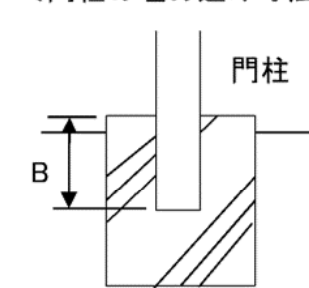
□200x200x200

## ■門柱の設置

- ・基礎ブロックに門柱を3000mmスパンで設置し、モルタルで固めます



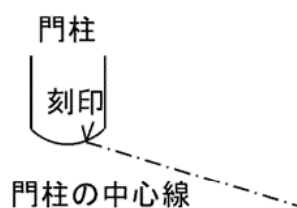
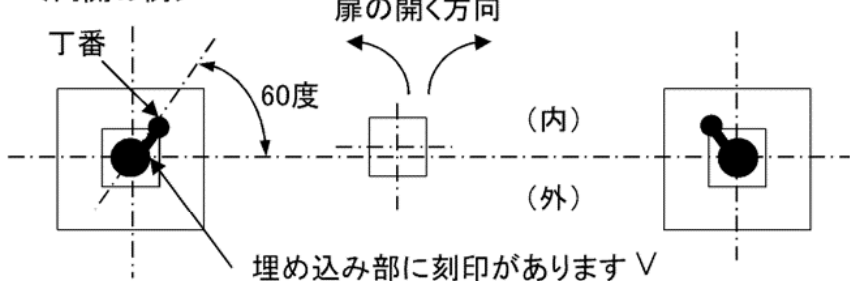
<門柱の埋め込み寸法>



	B
H1200	250 mm
H1500	300 mm
H1800	450 mm
H2000	450 mm

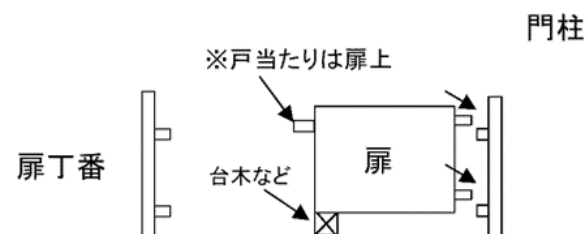
**重要** 門柱丁番は扉の開き側を向きます。角度は60度で振ってください。

<内開の例>

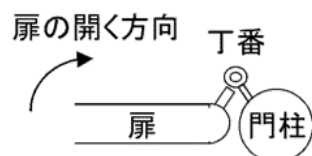


## ■扉の設置

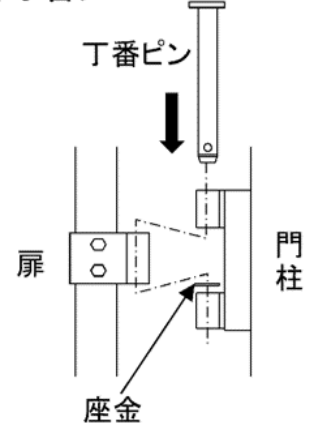
- ・扉と門柱の丁番に丁番ピンを差して扉を吊ります。



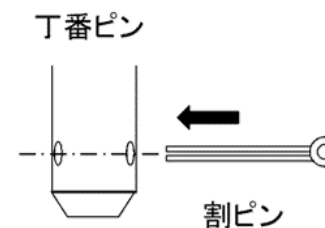
丁番、戸当たり、かんぬき、落としは扉に取付済み



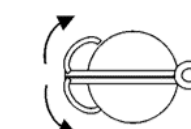
<扉丁番>



丁番ピンに割ピンを差し込み先端を折り曲げます

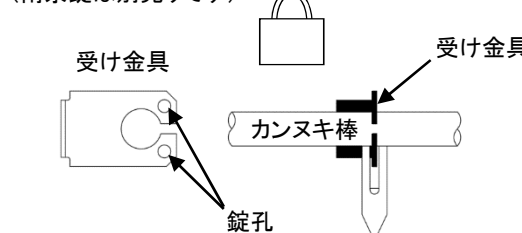


上から見た状態



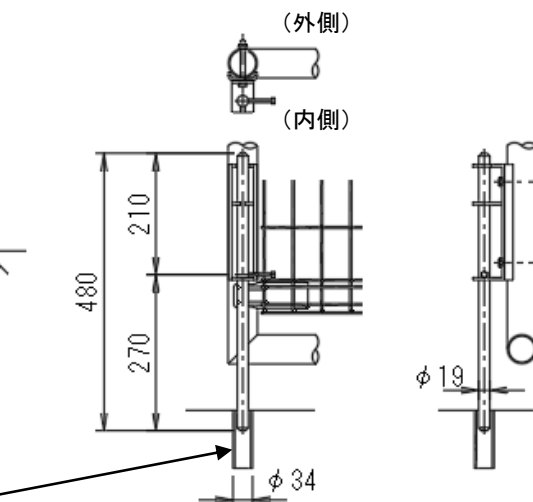
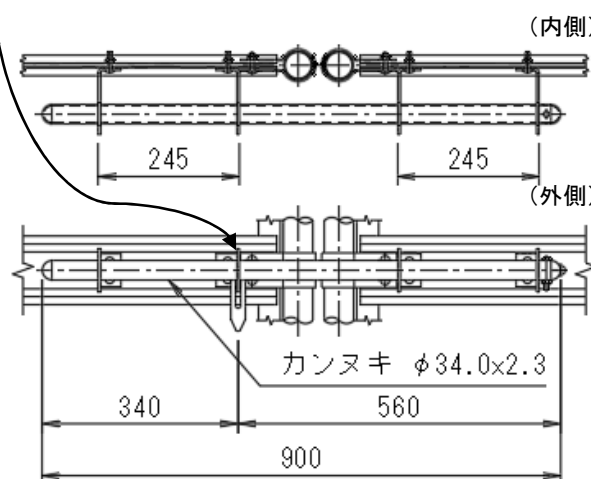
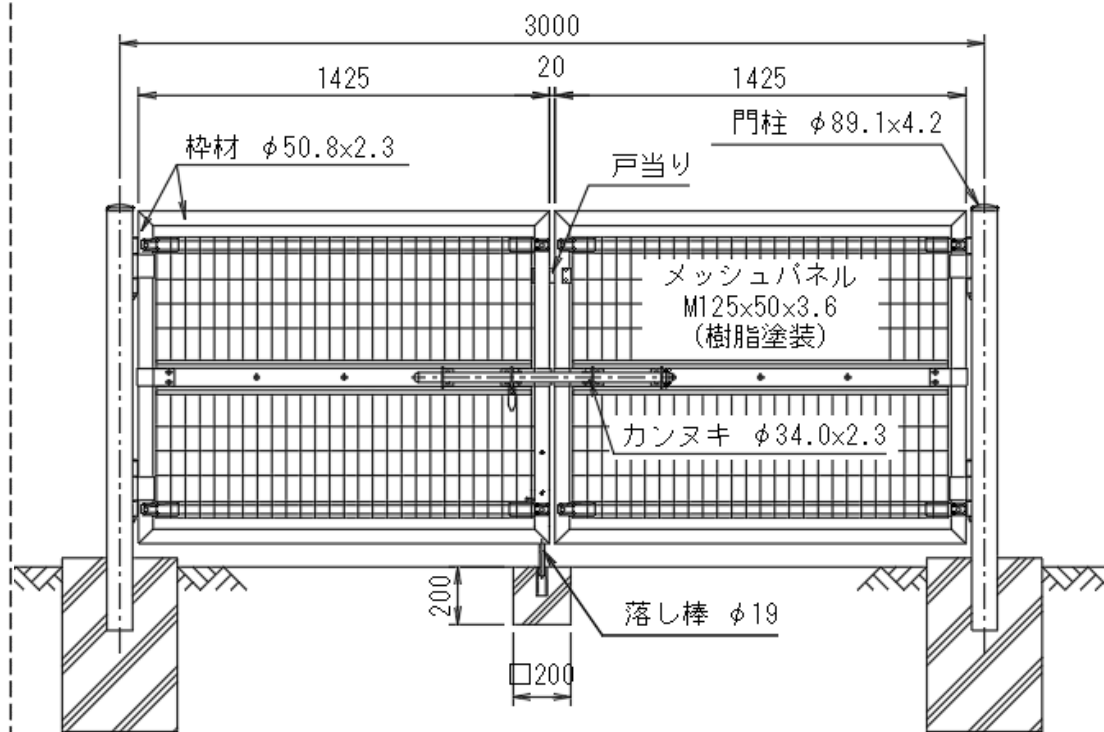
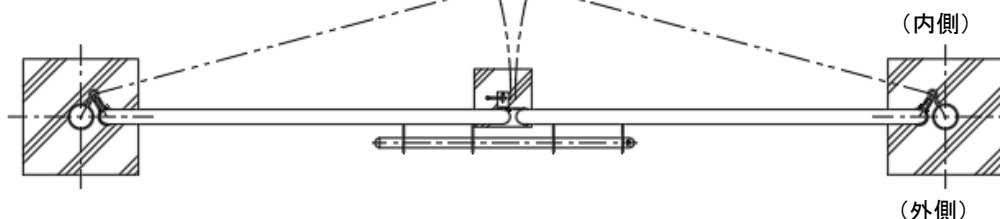
ペンチ等で折り曲げます

南京錠はかんぬき棒の受け金具の孔に取り付けます (南京錠は別売りです)




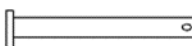

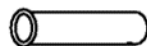
<参考図>

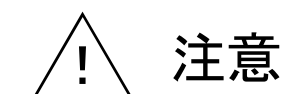
内開/左扉内落とし/右外かんぬき



扉を設置し、かんぬき棒を通して扉が閉まった状態で、落とし棒の下の基礎に落とし受パイプ(φ34)を設置してモルタルで固めます。

## ■ 部品表

品名	寸法	形状	数量
丁番用割ピン	φ 4x40		4
丁番ピン	φ 19x215		4
座金	φ 37xt3		4
落とし受パイプ	φ 34x100x3.2		1



注意

## ● 施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

## ● 取扱い注意点

- ①門扉施工完了後、工事店の方がお渡しする「使用上のご注意」に記載された事項を使用者に徹底するようお願いいたします。